

地方公共団体及び民間育英団体等の奨学生の募集について

下記の諸団体から奨学生の募集通知が出ています。すべてのご案内はMoodle(Moodleへログイン → ガイダンス → 学生支援課 → 奨学金)に掲載しています。

申込条件・提出期限など確認し、「申込方法」が「学生支援課へ提出」となっているものは、事前に学生支援課にお申し出ください。

令和7年4月10日

(給付＝返還の義務がないもの、貸与＝卒業後などに返還の義務があるもの、貸付＝条件満たせば返還が免除されるもの)

学生支援課 奨学金係

団体名	募集人数	金額	採用期間	申込条件など	他の奨学金との併用可否	申込方法	申込期限
公益財団法人 杉村先生記念奨学財団	1～3名	貸与 月額 【自宅】20,000円 【自宅外】25,000円	※年度毎に継続申請が必要	大学若しくは高等学校に在学する者又は理事会が特に認めた学校等に在学する者であること 経済的な理由により修学困難な事情があること 向学心に富み、かつ、修業の見込みがあること将来、国家及び社会に役立つと認められる者であること ※800文字程度の論文を提出し、審査後に必要書類を送付する	可	学生支援課へ申込 ※ただし大学からの推薦が必要なため、希望者は学生支援課へ申し出ること	4/18(金)
公益財団法人 中村積善会	学内で1名推薦	給付 月額50,000円	2025年4月から最短修業年限の終期まで	①日本国内の大学・大学院に在学する日本人学生及び海外からの留学生(在留資格が「留学」である者) ②優秀な学生で経済的理由によって修学の困難な者 ③留学生は私費留学生である者 ④学長等の推薦を受けた者 ⑤次の者は出願資格が無い ア. 出願時年度末(翌年3月31日)の年齢が40才を超えている者 イ. 勤務先から派遣されて在学する者 ウ. 学業に支障のあるような定職又はアルバイトに従事している者	可	学生支援課へ申込 ※ただし大学からの推薦が必要なため、希望者は学生支援課へ申し出ること	4/25(金)
札幌市教育委員会 (補充採用)	160名程度	給付 月額9,000円 (第1学年のみ入学支度資金21,000円給付)	※年度毎に継続申請が必要	高校等を初めて卒業した日の属する年度の翌年度初日から、その翌々年度の末日までに今の大学に入学し、次の①～⑤すべてに該当する方 ①本人または保護者の少なくともどちらか一方が札幌市内に居住していること ②本人と保護者の資産の合計額が2,000万円未満であること ※生計維持者の年間収入(所得)を審査の対象とする ③直近1年間の全科目の評定平均値が、5段階評価で3.0以上であること ④性行が善良であり、学校からの推薦が受けられること	可 ※札幌市特別奨学金との併用不可	学生支援課へ申込	4/25(金)
一般財団法人 工藤育英会	学内で2名程度	給付 月額20,000円	正規の最短修業期間	向学心に富み、かつ学業優秀であるにもかかわらず、経済的に恵まれないため勉学に支障のある大学生 道内の各振興局管内に所在する大学(短大、大学院は除く)で、かつ、北海道出身の学生又は、これらに準ずると認められたもの	審査有	学生支援課へ申込 ※ただし大学からの推薦が必要なため、希望者は学生支援課へ申し出ること	4/25(金)

<p>公益財団法人 ナガワひまわり財団</p>	<p>全国で 60名 程度</p>	<p>給付</p>	<p>月額30,000円</p>	<p>正規の 最短修業 期間</p>	<p>全国の大学・大学院等に在籍する学生を対象とした無償給付事業</p> <p>①成績要件:前年度までの成績(GPA)が3.00以上の者 ②収入要件:給与収入世帯は、世帯合計収入800万円未満の者 給与収入以外の世帯の場合は、自営業等その他収入400万円未満の者 ③その他要件:在学する学校長、指導教官などの推薦する者</p> <p>※3月初旬に法人HPに募集要項・願書掲載</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が財団HPより 直接応募</p> <p>※ただし教員の 推薦書が必要な ため、希望者は 学生支援課へ 申し出ること</p>	<p>4/25(金)</p>
<p>公益財団法人 栗林育英学術財団</p>	<p>各学部、大 学院研究科 それぞれ2 名以内</p>	<p>給付</p>	<p>月額 【大学院修士生】35,000 円 【大学生】30,000円</p>		<p>日本国籍を有し、本年度4月に北海道内の大学の第一学年に入学した大学院修士生・大学生で、学業優秀、品行方正、心身共に健康で、経済的な支援を必要とするもの</p> <p>課題文の提出有</p>	<p>可</p>	<p>学生支援課 へ申込</p> <p>※ただし出身校 の推薦書等が 必要のため、希 望者は学生支 援課へ申し出 ること</p>	<p>4/30(水)</p>
<p>一般財団法人 あしなが育英会</p>	<p>全国で 200名 程度</p>	<p>貸与</p>	<p>月額 【一般】40,000円 【特別】50,000円</p> <p>※2023年4月以降入学者は別途給付が受けられる場合あり</p>	<p>正規の 最短修業 期間</p>	<p>日本国内の大学に在学し、2000年(平成12年)4月2日以降に生まれた者で、次にあてはまる学生</p> <p>保護者(父または母など)が、病気や災害(道路上の交通事故を除く)、自死(自殺)などで死亡または保護者が1級から5級の障がい認定を受け、経済的援助を必要とする家庭の子どもであること</p> <p>※書類選考を通過した場合、大学奨学金説明会・面接試験有り</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送、も しくは、学生 支援課窓口 へ提出</p>	<p>5/20(火) 消印有効</p> <p>※学生支援課へ提出 の場合は5/13 15時</p>
<p>公益財団法人 KAWAJIRI FOUNDATION</p>	<p>全国で 10名</p>	<p>給付</p>	<p>年額48万円</p>	<p>2年間 (3・4年次)</p>	<p>以下の①～⑤すべてに該当すること</p> <p>①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの)に在籍する学部3年生であること ③応募締切日時時点で年齢25歳以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況および生活状況について適時報告できること</p> <p>※学業成績:GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況:収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送</p>	<p>5/31(土) ※必着</p>
<p>公益財団法人 岡本教育財団</p>	<p>全国で 10名</p>	<p>給付</p>	<p>年額48万円 ※7月下旬に 年額を一括給付</p>	<p>2年間 (3・4年次)</p>	<p>以下の①～⑤すべてに該当すること、</p> <p>①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの)に在籍する学部3年生であること ③募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること</p> <p>※学業成績:GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況:収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送</p>	<p>5/31(土) ※必着</p>

<p>公益財団法人 オークネット財団</p>	<p>全国で 20名 程度</p>	<p>給付</p>	<p>年額48万円 ※7月下旬に 年額を一括給付</p>	<p>2年間 (3・4年次)</p>	<p>以下の①～⑤すべてに該当すること、</p> <p>①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部及び情報系学部_に在籍する学部3年生であること ③募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること</p> <p>※学業成績: GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況: 収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送</p>	<p>5/31(土) ※必着</p>
<p>公益財団法人 深川真マリモ奨学財団</p>	<p>全国で 10名 程度</p>	<p>給付</p>	<p>年額48万円 ※7月下旬に 年額を一括給付</p>	<p>2年間 (3・4年次)</p>	<p>以下の①～⑤すべてに該当すること、</p> <p>①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部_に在籍する学部3年生であること ③応募締切日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること</p> <p>※学業成績: GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況: 収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送</p>	<p>5/31(土) ※必着</p>
<p>公益財団法人 LPC Foundation</p>	<p>全国で 10名</p>	<p>給付</p>	<p>年額48万円</p>	<p>2年間 (3・4年次)</p>	<p>以下の①～⑤すべてに該当すること</p> <p>①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部_に在籍する学部3年生であること ③応募締切日時点で年齢25歳以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況および生活状況について適時報告できること</p> <p>※学業成績: GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況: 収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送</p>	<p>5/31(土) ※必着</p>
<p>公益財団法人 久保教育文化財団</p>	<p>全国で 10名</p>	<p>給付</p>	<p>年額48万円</p>	<p>2年間 (3・4年次)</p>	<p>以下の①～⑤すべてに該当すること</p> <p>①日本国籍を有すること ②国内の大学の法学部_に在籍する学部3年生であること ③募集年度4月1日時点で年齢25歳以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況および生活状況について適時報告できること</p> <p>※学業成績: GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況: 収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送</p>	<p>5/31(土) ※必着</p>
<p>公益財団法人 青木仁志啓育財団</p>	<p>全国で 10名</p>	<p>給付</p>	<p>年額48万円</p>	<p>2年間 (3・4年次)</p>	<p>以下の①～⑤すべてに該当すること</p> <p>①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部_に在籍する学部3年生であること ③応募締切日時点で年齢25歳以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況および生活状況について適時報告できること</p> <p>※学業成績: GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況: 収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)</p>	<p>可</p>	<p>申請者本人 が法人宛に 直接郵送</p>	<p>5/31(土) ※必着</p>

一般財団法人 藤岡記念教育財団	全国で 10名	給付	年額48万円	2年間 (3・4年次)	以下の①～⑤すべてに該当すること ①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部 _{に在籍する学部3年生であること} ③応募締切日時点で年齢25歳以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況および生活状況について適時報告できること ※学業成績: GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況: 収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)	可	申請者本人 が法人宛に 直接郵送	5/31(土) ※必着
公益財団法人 杉山奨学財団	全国で 10名	給付	年額48万円	2年間 (3・4年次)	以下の①～⑤すべてに該当すること ①日本国籍を有すること ②国内の大学の経済系学部 _{に在籍する学部3年生であること} ③応募締切日時点で年齢25歳以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況および生活状況について適時報告できること ※学業成績: GPAが3.0以上であることが目安 ※家計状況: 収入・所得の目安あり(金額は法人HPを参照)	可	申請者本人 が法人宛に 直接郵送	5/31(土) ※必着
公益財団法人 和佐見丸和財団 (学業奨学生)	全国で 20名 程度	給付	総額90万円 ※2か月毎に 10万円	2025年10 月から18 か月間	財団が指定する大学(本学含む)に在籍する大学2年生(2025年4月時点)で、物流、流通経済、ロジスティクス、サプライチェーン及びこれらに関連する専門分野に興味を持ち、大学において同分野を学んでいること又は今後学ぶ意思を有していること ※願書・学業成績・家計状況などを総合的に評価し、書類審査により選考(面接を実施する場合もあり) ※応募者が多数の場合は学内選考をする場合があります	可	学生支援課 へ申込 ※ただし教員か らの推薦が必要 なため、希望者 は学生支援課 へ申し出ること	6/10(火) 15:00
公益財団法人 和佐見丸和財団 (スポーツ活動奨学生)	全国で 30名 程度	給付	30万円一括給付 ※10月上旬を予定	2025年11 月から1 年間	個人、団体競技を問わず、大学公認の運動部に在籍し、スポーツ技能の向上に向け日々積極的に研鑽に励んでいる大学1年生から大学3年生(応募時点)までの者、かつ、所属大学のスポーツ指導者からの推薦を受けることができ、国内大会で入賞以上の成績を収めた者であること ※願書・推薦書・競技活動の報告などを総合的に評価し、書類審査により選考(面接を実施する場合もあり) ※過去に当財団の奨学金の給付を受けた学生についても、再応募可 ※応募者が多数の場合は学内選考をする場合があります	可	学生支援課 へ申込 ※ただし指導者 からの推薦が必要 なため、希望者 は学生支援課 へ申し出ること	6/10(火) 15:00

学生支援課申込期限＝書類受付締切日ですので、申込希望者は早めに書類を提出してください。